

ルクセンブルク経済・金融情勢（2020年7月）

1 統計関連

- 2020年7月のインフレ率は年率0.94%（前月0.75%）（8月5日付統計局プレスリリース）
- 2020年6月の失業率は6.8%（前月6.9%，前年同月5.4%），7月の失業率は6.6%（前年同月5.4%）（8月20日付統計局及び職業安定所プレスリリース）
- 7月17日、政府のホームページにおいて、2020年度第二四半期の予算の執行状況に関する発表があったところ、中央政府の収入は前年度同期に比べて12.1%減少し、総額12億ユーロの減少、支出は前年同期に比べて21.9%増加し、総額20.5億ユーロの増加となった。社会保障関連費は2019年6月と比較して7億9,760万ユーロの増加で、これは前年比88.6%となる。主に一時的な失業に関連する費用を負担する雇用基金から支出されたものである。雇用基金の支出は、前年同時期と比較して7億8,340万ユーロの増加（前年比384.8%）であった。中央政府の財政収支は26億ユーロの赤字となり、前年同期比33億ユーロの悪化となっている。累積公的債務については、6月30日時点で150億ユーロであり、これはGDPの25.4%に相当する。よって政府の定めた30%の閾値を下回っており、欧州レベルで定義されているGDPの60%という限度を大幅に下回っている。（7月3日付RTL）

2 政府等関連

- 7月8日、カーボベルデとルクセンブルク間の第20回パートナーシップ委員会が開催され、2021年から2025年までの新たな使途指定協力プログラム（PIC）が署名された。「開発・気候・エネルギー」PICの目的は、貧困撲滅と持続可能な開発に貢献し、気候ガバナンスとエネルギー転換の分野でカーボベルデへの支援を強化しつつ、質の高い基本的な社会サービスの発展、社会的包摂、地域格差の縮小に引き続き、重点を置いていくというものである。（7月8日政府HP）
- 7月9日、ピエール・グラメーニャ財務大臣がユーログループのテレビ会議に参加した。ユーログループとは、ユーロ圏の加盟国19の大臣が共同で地域の戦略と政策を検討し、決定する非公式の機関であり、その目的は加盟国間の経済政策の緊密な調整を確保し、より強力な経済成長のための条件を整えることである。同会議において、アイルランドのパスカル・ドナフー財務大臣が新議長として選出された。ピエール・グラメーニャ財務大臣は、パスカル・ドナフー財務大臣とスペインのナディア・カルビニョ経済大臣とともに、7月12日に任期を終了するマリオ・センテノ氏の後継者候補となっていた。（7月10日政府HP）

※当国政府機関の公表資料や各種報道などの公開情報を取りまとめたもの。